

令和元年年度事業報告（案）

（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

第1 事業実績の概要及び会勢の現状

各種事業を概ね計画どおり実施し、航空自衛隊と米空軍との相互理解及び友好親善の増進に寄与できた。

令和元年度末の会員総数は416（正会員262、個人賛助会員97、団体賛助会員2、法人賛助会員36、名誉会員19）であり、年度当初会員数400から正会員1増、個人賛助会員15増、団体賛助会員、法人賛助会員及び名誉会員は増減なしであった。

第2 事業等の実施状況

1 日米隊員の激励等

（1）日米共同訓練参加隊員の激励

1.5.29 航空総隊司令官及び支援集団司令官を訪問し、レッド・フラッグ・アラスカ参加部隊に対する激励の意をお伝えした。（清藤理事長、浅井理事、小野理事）

2.1.9 航空総隊司令官及び支援集団司令官を訪問し、コープ・ノース・グアム参加部隊に対する激励の意をお伝えした。（清藤理事長、木村理事、小野理事）

（2）日米隊員の表彰

2.1.31 横田基地において、作戦システム運用隊 石塚哲也1等空曹、航空気象群 古賀敦准空尉、第2輸送航空隊 森本賢2等空曹及び第374空輸航空団 ティモシー J. ジョンソン空軍曹長を当協会設立の目的に副う功績があったとして表彰した。

来賓：作戦システム運用隊司令 荒木俊一 1等空佐以下60名

第374空輸航空団司令官 ジョーンズ空軍大佐以下20名

協力団体等：山下横田基地協力会会長、日吉横田基地OB会会長

J A A G A：齊藤会長、福江理事、新谷理事

2.2.6 那覇基地において、那覇救難隊 松山寿空曹長及び第18戦闘航空団 デリク・スタイナー空軍中尉を当協会設立の目的に副う功績があったとして表彰した。

来賓：南西航空方面隊司令官 鈴木康彦空将、第9航空団司令 稲月秀正空将補、南西航空音楽隊（支援）を含め122名

第18戦闘航空団任務支援群司令官 サング・ドーン大佐以下20名

J A A G A：齊藤会長、前原理事、渡邊理事、丸野沖縄支部長、木村沖縄支部事務局長以下5名

2.2.14 三沢基地において、北部航空警戒管制団警戒通信隊 井口健二空曹長及び第35戦闘航空団施設隊隊長 デビッド・ダンマイヤー中佐を当協会設立の目的に副う功績があったとして表彰した。

来賓：北部航空方面隊副司令官 熊谷三郎空将補、第3航空団司令 久保田隆裕空将補、北部航空音楽隊（支援）を含め約60名

第35戦闘航空団副司令官 クリストファー・ハモンド大佐以下40名

協力団体等：野坂三沢市防衛協会会長、倉持三沢つばさ会会長他4名

J A A G A：齊藤会長、大浦理事、深瀬理事、丸山三沢支部長、山本三沢支部事務局長

（3）日米隊員の交流活動（日米相互特技訓練）等激励

1.7.19 航空幕僚監部人事教育部長を訪問し空自受入れ部隊に対する激励の意をお伝えした。（清藤理事長、福永理事、小野理事）

1.5.29 第5空軍副司令官を訪問し米軍受け入れ部隊に対する激励の意をお伝えした。（清藤理事長、浅井理事、小野理事）

米空軍三沢基地：1.9.12～9.25(15名)

米空軍横田基地：1.10.17～10.25(15名)

米空軍嘉手納基地：1.11.14～11.22(15名)

- 空自三沢基地 : 1. 8. 19～8. 30(12名)
- 空自大湊分屯基地 : 2. 1. 20～1. 27(6名)
- 空自防府南基地 : 2. 1. 20～1. 28(6名)
- 空自築城基地 : 2. 3. 9～3. 17(9名)

2 米空軍軍人の日本研修等支援

(1) 米空軍軍人の日本文化研修支援

防大留学米空軍士官学校学生への研修支援

- 1. 9. 28～29 防衛大学校への留学生(3名)に対する日本文化施設等研修(日光等研修)を肥田木ご夫妻の協力を受け、吉田理事、岩本理事が支援した。

(2) 米空軍軍人の地域行事等参加支援

スペシャルオリンピックスの支援

- 1. 6. 1 横田基地 : 中島副理事長、阪東理事、村田理事が参加支援した。
- 1. 10. 12 三沢基地 : 丸山支部長、山本三沢支部事務局長が参加支援した。

3 J A A G A と航空自衛隊・米空軍との交流

(1) S P O R T E X ' 1 9 * () 内は、ボランティア参加で内数

ア S P O R T E X ' 1 9 - A

- 30. 11. 14 多摩ヒルズにおいて、米空軍軍人及び会員計61名(米空軍18名(1)、正会員32名(1)、賛助会員11名)の参加を得て実施した。

イ S P O R T E X ' 1 9 - B

中止した。

(2) 指揮官交接待待等への出席及び来日した米空軍関係者の接遇

- 1. 7. 8 第18戦闘航空団司令官キャリー准将の指揮権交代式に齊藤会長、丸野沖縄支部長が参加した。

(3) 米空軍協会(AFA)総会への参加等

- 1. 9. 9 齊藤会長、永岩顧問、堀顧問、山崎顧問、尾上顧問、石野副会長、平田副会長、～9. 20 清藤理事長、福江理事、平本理事、前原理事、荒木理事が、AFA総会に参加するとともに空軍参謀本部、太平洋空軍司令部等への訪問及び名誉会員との交流を実施した。
- 2. 2. 20 GH市ヶ谷において会員を対象に訪米成果報告会を実施した。

(4) 在日空軍各基地との連携の強化

- 1. 9. 8 米空軍三沢基地日米友好祭に丸山三沢支部長、山本三沢支部事務局長が参加した。
- 1. 9. 13 米空軍三沢基地エアフォースボールに丸山三沢支部長、山本三沢支部事務局長夫妻が参加した。
- 1. 9. 14 米空軍嘉手納基地エアフォースボールに丸野沖縄支部長が参加した。
- 1. 9. 15 米空軍横田基地日米友好祭に阪東理事、岩本理事、藤田理事、川口理事、村田理事、石川会員が参加した。
- 1. 12. 7 米空軍嘉手納基地オープンハウスに相原会員が参加した。
- 1. 12. 7 米空軍横田基地オープンハウス(374AW)に、藤田理事、石川会員が参加した。
- 1. 12. 13 米空軍横田基地オープンハウス(5AF)に、藤田理事、村田理事が参加した。

(5) 米空軍慶弔への対応

- 1. 12. 3 第5空軍等に対しクリスマスカードを送付した。
- 2. 3. 9 ブラウン太平洋空軍司令官に対し次期空軍参謀長への指名に伴う祝電を送付した。

(6) 関係団体との交流

- 1. 4. 12 J A N A F A 主催の定例懇親会(東京)に石野理事長(当時)が参加した。
- 1. 12. 5 J A N A F A 主催の定例懇親会(横須賀)に清藤理事長が参加した。
- 2. 1. 25 横田基地と7クラブ合同新年会に阪東理事、藤田理事、村田理事が参加した。

4 広報及び広報協力

(1) 日米要人等の講演

ア 空幕部長等の講演

2.2.20 GH市ヶ谷において航空幕僚監部防衛部長南雲空将補による講演を実施した。
参加者は正会員及び賛助会員67名であった。

(演題：今日の安全保障上の課題と空自の取り組み)

イ 米空軍要人等の講演

1.5.13 GH市ヶ谷において第5空軍司令官 ケビン・シュナイダー中將による講演を実施した。参加者は正会員及び賛助会員並びに招待者等合計186名であった。

(演題：共により強く一新時代への姿勢)

(2) 米空軍基地等の研修

1.10.4 会員33名(団長小城氏以下正会員4名、賛助会員29名)の米空軍横田基地等研修を木村理事、伊藤理事、小野理事、大岩理事が支援した。

* 米空軍嘉手納基地等研修は中止した。

(3) 日米安保等に関する広報活動

米空軍に対する広報支援

要請がなかったため未実施

(4) 会報「JAAGAだより」の発行・配布

1.6.24 56号(部数：1700部)を発行・配布した。

1.12.23 57号(部数：1740部)を発行・配布した。

(5) 一般広報

ア インターネット・ホームページを運営した。

イ パンフレット(日本語版及び英語版)を作成した。

ウ JAAGAだより投稿者への御礼としてグッズ(タイピン等)を作成し、贈与した。

5 総会等

(1) 総会

1.5.13 GH市ヶ谷において、正会員68名(委任状151名)の出席を頂き、第1号議案から第5号議案まで案どおり承認された

(2) 記念講演等

1.5.13 GH市ヶ谷において、記念講演(186名)、懇親会(220名)を実施した。

6 運営管理

(1) 会勢の拡大等

ア 会員の拡大

正会員 : 262名(年初会員数：261名)(入会：21名、退会：20名)

個人賛助会員 : 97名(年初会員数：82名)(入会：16名、退会：1名)

団体賛助会員 : 2団体(変化なし)

法人賛助会員 : 36法人(変化なし)

名誉会員 : 19名(変化なし)

イ 支部との連携

各支部と連携し活動を支援した。

(2) 組織基盤の整備等

JAAGA事務所を運営するとともに活動に必要な備品等を整備した。

(3) 会員名簿の作成・配布

1.12.23 420部発送した。

(4) 役員会及び理事会

ア 役員会

1.6.21 1.9.26 1.12.17 2.3.11~3.18(メールによる審議)に実施した。

イ 理事会

1.4.25 1.5.23 1.6.26 1.10.24 1.11.20 1.1.24、1.2.21に実施した。

(5) 監査

2.4.13 元年度会計監査及び物品監査を実施